

寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchū Danwakai

目次

- 並木 彬雄 : 埼玉県ノヤガ科 (X) 最終回 527
- 小堀 文彦 : 東松山市において越冬中のウラギンシジミを発見 530
- 吉田 文作 : ムラサキシジミの採集、目撃記録 530
- 新井 裕 : 秩父市の小湿地におけるトンボの記録 531
- 松井 英子 : 食樹を離れて蛹化したウラナミアカシジミ 537
- 井上 寛 : 8月下旬、三峰で採集した蛾 538
- 小田 博 : 「埼玉県動物誌」に追加する甲虫類 (I) 541
- 神久保 美津夫 : 冬のムラサキシジミの吸水 545
- 柳田 恒一郎 : 埼玉県未記録の蛾7種の記録 546
- 新井 裕 : トンボ展示室よりお知らせ 546
- 柳田 恒一郎 : 皆野町8月上旬の蛾 (1) 547
- 市川 和夫 : 小笠原諸島の夏のヤガ類 549
- : 三峰でミドリリングを3頭採集 550
- 松井 英子 : ヒトツメカギバ成虫を12月に採集 550
- 野沢 雅美 : 埼玉県産半翅類雑記 (8) 551
- 柳田 恒一郎 : コフキトンボ♀異色型の記録 551

: 「埼玉の蝶」出版計画第4報: 金曜セミナーの報告
: 会報: 編集後記: 付録



埼玉県のヤガ科 (X)

並木彬雄

クルマアツバ亜科 *Herminiinae*

1. ハナマガリアツバ *Bertula jutalis* WALKER
宝登山、大輪、栃本、三峰山、大洞川上流、三国峠で、6月上旬より10月上旬までの記録がある。
2. ソトウスアツバ *B. hisbonalis* WALKER
大洞川上流 (2♂ 21-VII-1974)
3. シラナミクロアツバ *Aadiza notigera* BUTLER
大輪 (1♂ 3-VIII-1975)、大洞川上流 (1♂ 14-VIII-1972)
4. フジロアツバ *Bertula simplex* BUTLER
浦和市 (1♂1♀ 10-VI-1972, 2♂ 16-VIII-1969 大島進一)
5. オオシラホシアツバ *Edessena hamada* C. et R. FELDER
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、宝登山、三峰山で、5月下旬より10月上旬までの記録がある。
6. ハナオИАツバ *Cidariplura gladiata* BUTLER
上中尾、川又、三峰山 (動物誌)
7. カギモンハナオИАツバ *C. signata* BUTLER
川口市 (1♂ 23-VI-1973)、鳩ヶ谷市 (1♂ 17-VII-1969 有藤寛一郎)
- 8.* キスジハナオИАツバ *C. brevivittata* MOORE
大洞川上流 (1♂ 21-VII-1974)
9. アカマエアツバ *Simplicia rectalis sicca* BUTLER
川口市、三峰山で、5月下旬より8月下旬までの記録がある。
10. オオアカマエアツバ *S. nippona* BUTLER
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、大洞川上流、三国峠で、6月中旬より10月中旬までの記録がある。
11. ヒゲブトクロアツバ *Nodaria tristis* BUTLER
定峰峠、宝登山で、10月上旬、大洞川上流で7月下旬の記録がある。
12. ツマオビアツバ *Zanclognatha griselda* BUTLER
定峰峠、宝登山、志賀坂峠、三峰山、大洞川上流で、7月中旬より9月中旬までの記録がある。

13. ウスグロアツバ *Z. fumosa* BUTLER
浦和市、大宮市で、5月上中旬、6月上旬の記録がある。
14. キイロアツバ *Z. helva* BUTLER
大宮市、定峰峠、宝登山、大洞川上流で、5月上旬より6月下旬までの記録がある。
15. コブヒゲアツバ *Z. lunaris* SCOPOLI
定峰峠 (1♂ 13-VI-1971)、大洞川上流 (21-VII-1974)
16. ヒメコブヒゲアツバ *Z. tarsipennalis* TREITSCHHE
川口市、浦和市、大宮市、志賀坂峠で、5月上~下旬の記録がある。
17. クロスジアツバ *Z. nemoralis* LEECH
定峰峠、志賀坂峠、三峰山で、6月中旬より9月中旬までの記録がある。
18. オビアツバ *Z. fascialis* LEECH
浦和市で5月中旬より7月下旬まで、三峰山で7月上旬の記録がある。
19. トビスジアツバ *Z. tarsicrinalis* KNOCH
宝登山 (1♂ 26-VII-1970)
20. ウスキミスジアツバ *Z. arenosa* BUTLER
岩槻市、朝霞市、金山、三峰山 (動物誌)
21. フシキアツバ *Z. dolosa* BUTLER
川又、三峰山 (動物誌)
22. シラナミアツバ *Z. innocens* BUTLER
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、所沢市、志賀坂峠で、5月上旬より9月中旬までの記録がある。
23. オオシラナミアツバ *Z. fractalis* GUENÉE
川口市、浦和市、大輪、三峰山で、8月中旬より11月上旬までの記録がある。
24. ミツオビキンアツバ *Z. aegrota* BUTLER
川口市 (1♂ 28-V-1961, 1♂ 14-IX-1968)
25. ウラジロアツバ *Z. stramentacealis* BREMER
浦和市 (動物誌)
26. ヒメツマオビアツバ *Z. subgriselda* SUGI
秩父市浦山口 9月中旬 (寄せ蛾記No.30)
27. ナミクルマアツバ *Anatatha lignea* BUTLER
川口市 (1♂ 12-VI-1966)
28. ミスジアツバ *Trisateles trilinealis* BREMER
大宮市、所沢市、宝登山、志賀坂峠、三峰山、三国峠で、5月下旬より9月中旬までの記録がある。

29. シロオビアツバ *T. emortualis* DENIS et. SCHIFFERMÜLER
 定峰峠、宝登山、三峰山、大洞川上流で、6月上～下旬と9月上旬の記録がある。
30. シロモンアツバ *Capnistis albinotata* BUTLER
 三峰山、三国峠で、6月中旬より7月上旬までの記録がある。
31. フタスジアツバ *Bocana bistrigata* STAUDINGER
 川口市、定峰峠、宝登山、志賀坂峠、三峰山で、5月中旬より6月下旬までの記録がある。
32. シロスジアツバ *B. spacoalis* WALKER
 川口市、宝登山、三峰山、大洞川上流で、5月下旬より8月中旬までの記録がある。
33. シロホシクロアツバ *Epizeuxis curvipalpis* BUTLER
 大洞川上流 (2♂ 21-VII-1974)、三国峠 (1♂ 15-VIII-1971)
34. シロテムムラサキアツバ *E. pryeri* BUTLER
 宝登山 (2♀ 7-VI-1970, 1♂ 8-X-1972)、志賀坂峠 (1♂ 1-VII-1973, 1♂ 26-VIII-1973)
35. ※ ウスイロアツバ *E. lilacina* BUTLER
 栃本 (1♂ 6-IX-1970)、大洞川上流 (1♂ 23-VI-1974)
36. アミメアツバ *Adrapsoides reticulatis* LEECH
 正丸峠 (1♂ 15-VIII-1971)、栃本 (1♀ 6-IX-1970)、三国峠 (1♂ 3-VIII-1975, 2♂ 15-VIII-1971, 1♂1♀ 16-VIII-1974)
37. ソトウスモンアツバ *Hydrillodes repugnalis* WALKER
 川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、顔振峠、志賀坂峠、栃本、三峰山、三国峠で、4月中旬より10月上旬までの記録がある。
38. ヒロオビウスグロアツバ *H. funeralis* WARREN
 浦和市、宝登山、三峰山 (動物誌)
39. キスジウスグロアツバ
 浦和市 (Argynnis vol.9)
40. ハスオビアツバ *H. squalida* WILEMAN et SOUTH
 浦和市 (寄せ蛾記 No.11)
41. クルマアツバ *Paracolax derivialis* HUBNER
 志賀坂峠 (1♂ 1-VII-1973)、大洞川上流 (1♂ 21-VII-1974, 1♂ 14-VIII-1972)

××××××××××××××××

本亜科は、小型種も多く、翅の紋も似た種が多く、同定のむずかしいグループです。今のところ、データ及び標本も少なく、今後5～10種が出るだ

ろうと思われまゝ。又、私の標本も、専門家に同定を求めておりませんので、今後、若干の手なおしがあるかもしれません。今回でこの連載は完結しました。尚、リストの番号に※がある種は、埼玉県末記録種を示します。

(なみき あきお 〒332 川口市並木町5-2)

東松山市において越冬中の
ウラギンシジミを発見

小堀文彦

筆者は、本誌No.39 (p.456) で越冬中のウラギンシジミについて述べたが、新たに越冬中の本種を観察したので報告する。

場所：埼玉県東松山市森林公園内

日時：1984年1月15日 午後2時30分頃

観察個体：4♀♀ 新鮮個体とやや汚損した個体

当日は、主としてオオミドリシジミとウラゴマダラシジミの採卵を目的として行った。ウラギンシジミの成虫は、南斜面に生えていたやや大きめの(4~5m) アラカンの葉裏に、触角を翅の間にはさんだ形で静止していた。4♀共1本の枝の2~2.5mくらいの所に集中して(個体どうしは離れて)止まっており、付近のアラカンなどを捜してみたが、他にはとうとう発見できなかった。白色紋は個体により大きさに変異があり、発達が一番弱い個体は翅型もやや丸味を帯びていて夏型に近い。

[越冬中ウラギン発見シリーズ Part 2]

(こぼり ふみひと 〒363 桶川市下日出谷1368-5)

ムラサキシジミの採集、目撃記録

吉田文作

1983年は、県内各地でムラサキシジミが採集、目撃されたようであるが、県北でも数例あるので報告しておきます。

熊谷市場井(やぎい) 成虫/頭採集2頭目撃 22-X-1983

比企郡滑川村福田 成虫/頭採集3頭目撃 22-X-1983

比企郡嵐山町古里 成虫2頭採集多数目撃 22-X-1983

発生していそうな場所には必ずいたので、発生数は多かつたようである。

(よしだ ぶんさく 〒360 熊谷市大字三ヶ尻2849-1)

秩父市の小湿地におけるトンボの記録

新井 裕

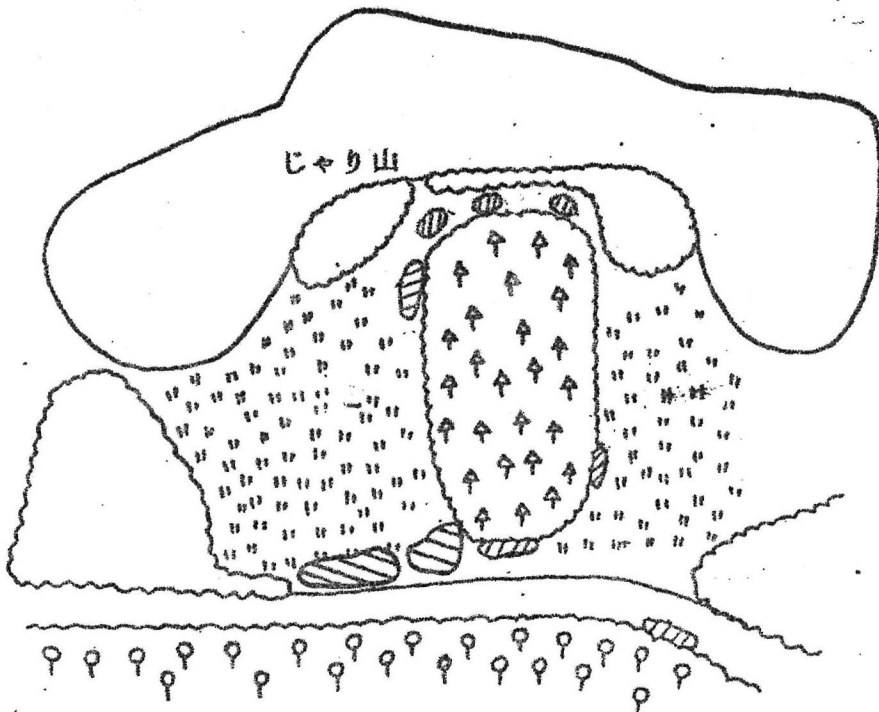
筆者は1981年から秩父市大宮にある小湿地においてトンボ類の生態観察を行っており、これまでに、クロスジギンヤンマ (新井、1982)、サラサヤンマ (新井、1983a)、ハラビロトンボ (新井、1983b)、リスアカネ (新井、1983c)、ルリボシヤンマ (新井・村木、1983) の生態について、冬期に水が干上がった状況下での幼虫の越冬状況について報告した (新井、1983d)。

この湿地は民間会社の所有地で、1984年にはいって周辺の雑木林の伐採が行われると共に、湿地を取りまいてるジャリ山がブルドーザーによってくずされ始めている。今後、この湿地の周辺の環境が変化することが予想され、場合によっては湿地そのものが消失する恐れもある。そこで、当地で観察したトンボの若干の生態知見と現在の湿地の状況について記録しておくことにする。

湿地の概況

調査地の湿地は埼玉県秩父市大宮 (東経139度、北緯36度) にあり、標高は約260mである。このあたりの土壌は第三紀層の非火山灰土で、表層は浅く、少し掘るときわめて硬い岩盤につきあたる。表土は重粘土が多く含まれており水はけが悪く、降雨によって水がたまりやすい。そのため植物の生育には不適で、根張りが小さいため、強風によって樹木は倒伏しやすい。湿地は林 (アカマツ、コナラ、ニセアカシア等が混在する) と、ジャリを積み上げた山に囲まれており (図. 1)、周辺よりやや低くなっているため、降雨が排水されにくくその結果多雨時には池のような状態となる。また、湧水や川からの流入水は全くないため、晴天が続く初冬～早春にかけては水が完全に干上ってしまい、一見草地のようになる。夏も晴天が続くため干上ることもあるが、当地方は夕立が多いため、夏期には干上がった状態は継続しない。水深は降雨量による変動が大きい、最大時でも40cm程度で、通常は1～5cmの浅い状態である。また、盛夏時における日中の水温は38℃に達する。

このような水分条件のため植生は貧弱で、一時的にウキクサやアオミドロが発生する他は水草は存在せず、スゲ類やヒメガマ、カヤツリグサ、イグサ類等の好湿地性の植物が散在している。湿地のへりの林と接する部分はササ類でおおわれて日当たりが悪く、場所によっては落葉が数10cmの層となってたい積している。また、初夏にはニセアカシアの花がらが落下し、それが腐敗して悪臭を発している。1983年3月に測定した時のpHは7.2であった。



♀ ニセアカシア林 ↑ アカマツ林 ● やぶ ▨ 湿地 ▨ 水溜り

図. 1 調査地の概略

この湿地は冬期に干上ってしまうため魚類は全く生息せず、アメリカザリガニも一時的に少数のごく小さな個体を見かけるのみであった。一方、カエルは多数が産卵にやって来るようで、3月～8月まで連続してオタマジャクシが見られた。また、サンショウウオも湿地のへりの落葉がたい積した樹陰下に多数の幼生が生息していた。トンボ以外の水生昆虫としてはカゲロウが比較的多く、ヒメゲンゴロウを中心とした小型のゲンゴロウも少なくない。また、マツモムシ、ミズカマキリ、タイコウチも見られるが個体数は少ない。

以上のように、トンボをとりまく生物的環境としては捕食者が少なく被食者が多いといった好的な条件を備えている。

調 査 結 果

1. 種類構成

当地で確認することができたトンボは、表. 1 に示した7科32種である。このうち、成虫のみの確認で幼虫の生息を確認できなかった種は、オツネントンボ、ホソミオツネントンボ、コサナエ、シオヤトンボ、オニヤンマ、ミヤマア

種名	幼虫の有無※	分布型※※
モートンイトトンボ	○	N
キイトトンボ	○	N
アジアイトトンボ	○	N
オオイトトンボ	○	S
オツネントンボ		N
ホソミオツネントンボ		S
オオアオイトトンボ	○	N
コサナエ		N
オニヤンマ		N
サラサヤンマ	○	S
カトリヤンマ	○	S
ヤブヤンマ	○	S
ルリボシヤンマ	○	N
マルタンヤンマ	○	S
ギンヤンマ	○	N
クロスジギンヤンマ	○	N
タカネトンボ	○	N
ハラビロトンボ	○	N
シオカラトンボ	○	N
シオヤトンボ		S
オオシオカラトンボ	○	S
ヨツボシトンボ	○	N
ショウジョウトンボ	○	S
ミヤマアカネ		N
ナツアカネ	○	S
アキアカネ	○	N
ヒメアカネ	○	N
マユタテアカネ	○	N
リスアカネ	○	N
ノシメトンボ		N
コシアキトンボ	○	S
ウスバキトンボ	○	

表. 1

調査地にて確認したトンボ

※ ○印は幼虫の生息を確認
(サラサヤンマのみは羽化殻による間接確認)

※※ Nは北方系種
Sは南方系種

カネ、ノシメトンボの7種で、このうちコサナエ、シオヤトンボ、オニヤンマ、ノシメトンボの4種では産卵行動が観察された。

これら32種について長野県のトンボ(1977)に従って分類すると、北方系種が20種(64.5%)、南方系種が11種(35.5%)で、北方系種が優勢である。

このうち分布上注目されるのは、ルリボンヤンマ、マルタンヤンマ、ヨツボシトンボなどを、特に高山トンボの一種であるルリボンヤンマが、標高が300mに満たない地点に多産することは興味深い。また、マルタンヤンマは、近年激減傾向にある南方系種で、北関東で幼虫の生息が確認された地点として貴重であろう。一方、ヨツボシトンボは、1982年には少数の成虫を目撃したのみであったが、1983年には比較的多くの幼、成虫が確認できた。また、1983年6月14日にはブラエヌビラ型のオスを1頭採集したが、本県では初めての記録かもしれない。

2. 成虫の出現期の年による差

春から初夏にかけて発生する9種についての初見日を表. 2に示した。

種名	1982年	1983年
シオヤトンボ	IV-26	IV-25
ヨツボシトンボ	V-24	IV-21
キイトトンボ	VI-28	VI-1
モートンイトトンボ	VI-16	VI-1
オオアオイトトンボ	VI-16	VI-7
サラサヤンマ	VI-5	V-18
クロスジギンヤンマ	V-10	V-4
ルリボンヤンマ	VII-8	VI-27
アキアカネ	VI-23	VI-23

表. 2
成虫の初見日

シオヤトンボとアキアカネでは大差がなかったが、その他の種では1983年の方がかなり発生が早かった。出現期はその年の気温によって左右されると思われるので、両年の1月から6月までの旬別平均気温を調べた。その結果は、表. 3の通りで、2. 3. 5. 6の各月は1982年の方が高く、1983年の方が高かった月は1月と4月のみである。このことから、越冬後の卵や幼虫の発育

月 年	I			II			III		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1982	2.1	0.5	1.3	0.5	2.3	3.2	4.2	7.3	7.4
1983	2.3	0.7	1.5	1.9	0.8	1.7	3.5	5.1	7.6

IV			V			VI		
上	中	下	上	中	下	上	中	下
9.5	11.3	13.3	18.1	17.7	19.4	19.5	19.7	18.3
11.4	13.2	16.1	16.0	17.1	18.2	19.0	18.1	18.4

表. 3 秩父市における旬別平均気温 (秩父測候所 測定)

に及ぼす気温の影響は4月が大きいことを示唆しているのではないかと考えられるが、この点については更にデータの積み重ねが必要であろう。一方、1982年には通常の羽化時期よりかなり遅れて羽化する個体が見られた。すなわち、ナツアカネの9月17日、アキアカネの9月22日、ハラビロトンボの10月12日である。ハラビロトンボは1個体のみ例外的現象であったが、ナツアカネとアキアカネについては、9月になっても羽化する個体が連日見られた。この2種のアカネの通常の羽化期は6月下旬～7月中旬であるので、通常より約2カ月も遅い羽化ということになる。気温からすると、1983年の方が低目に推移したにもかかわらず、このような遅い羽化個体は全く観察されなかった。このことから、気温以外の要因によって羽化が遅れたものと考えられる。

3. 生活史に関する事項

ルリボシヤンマ

6月下旬～8月下旬の2カ月間にわたって羽化が続き、羽化後の成虫はいずこかへ飛び去る。成熟した成虫が湿地に姿を現わすのは9月上旬からで、産卵も9月上旬に見られる。没姿期は10月下旬～11月上旬で、雄の方が早く没姿する。卵は眼点期の状態で越冬し、翌年の5月下旬に孵化する。卵は比較的乾燥に強く、水を満たしたシャーレに入れておいたものを水が蒸発したのを知らずに1～2日放置してしまったものでも孵化した。

孵化幼虫はその後急速に成長し、多くの個体は中齢で越冬後6～7月に羽化するものと思われるが、一部の個体はその翌年に羽化するものと推察される。

カトリヤンマ

一般には6~7月に羽化すると考えられるが、当湿地では9月に終齢になって10月に羽化する個体が少なからず見られる。8月23日に採卵した卵を室内に保護したところ、卵のまま越冬したので、その後水温を18℃に加温したところ2月下旬に孵化した。このことから、本種は卵態で越冬し、翌春孵化するものと思われる。

ヤブヤンマ

成虫は6~8月に見られる。7月18日に採卵した卵は8月2日に孵化したが、9月13日に採卵したものは10月6日に孵化した。いずれも室内の常温下に保護したものであるので、卵期間は気温によって大きく変動するものと思われる。孵化後の発育は急速で、上記の7月18日採卵の卵を村林和男氏宅で飼育したところ、成長の早い個体は終齢のひとつ前まで達したという。当湿地では若~中齢幼虫で越冬する個体が認められた。本種は年1世代の発生であることが報告されている(藍野,1937)。

キイトトンボ

6~9月に産卵が行われ、孵化した幼虫は年内に4~13mmの体長となって越冬し、早い個体では5月下旬に終齢となって6月に羽化する。1年1世代と考えられる。

ハラビロトンボ

成虫は5月から現われ9月上旬まで見られるが、6~7月が盛期で8月にはいると急に個体数が減少する。羽化個体のマーキングによる追跡調査では、羽化後8日で体色が褐変し、羽化後15日で完全に黒化することがわかった。越冬は若齢~終齢の幼虫態で行われる。

数種のトンボについての卵期間

人工採卵し、室内の常温下に放置した場合の卵期間は次の通りであった。

ヨツボシトンボ：6日間(6月1日採卵)

ショウジョウトンボ：12日間(6月13日採卵)

サラサヤンマ：27日間(5月21日採卵)

クロスジギンヤンマ：17日間(5月17日採卵)

引用文献

- 新井 裕, 1982 : クロスギンヤンマの生態. 寄せ蛾記、38 : 431—434
 ———, 1983a : 樹陰下におけるサラサヤンマの生態. 寄せ蛾記、40 : 479—482
 ———, 1983b : 成熟成虫の行動を中心としたハラビロトンボの生態.
 月刊むし、143 : 17—22
 ———, 1983c : リスアカネの配偶行動. インセクトリウム、20 : 150—154
 ———, 1983d : 干上がった湿地におけるトンボ幼虫の越冬生態.
 月刊むし、146 : 15—17
 新井 裕・村林 和男, 1983 : 秩父地方におけるルリボシヤンマの生活史と生態.
 昆虫と自然、18(13) : 32—33
 藍野 裕久, 1937 : ヤブヤンマの生活史並びに其の習性に就いて
 応用動物学雑誌、9 : 205—212
 信州昆虫学会編, 1977 : 長野県のトンボ. 195pp. 長野

(あらい ゆたか 〒369—12 大里郡寄居町末野 /233—2)

食 樹 を 離 れ て 蛹 化 し た

ウ ラ ナ ミ ア カ シ ジ ミ

松 井 英 子

ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* HEWITSON の蛹化は食樹の葉裏で行われると記載されている（「原色日本蝶類幼虫大図鑑」vol. I 1960, 「原色日本昆虫生態図鑑IIIチョウ編」1972）が、ごく一部のものは食樹を降りて、蛹化するという記録もある（「信濃の蝶・III」1976）。

筆者は、当談話会の三ヶ島調査会において、下記のとおり食樹を離れて蛹化したウラナミアカシジミの蛹1個体を採集したので報告する。

採集日：1983年6月5日

採集地：所沢市三ヶ島

蛹化場所：本個体が食したと思われるコナラより約2m離れたかん木の葉上（地上1m）。

なお、この蛹は寄生されており、1週間後に寄生蜂が羽化した。

さいごに、この蛹の種名を同定していただいた牧林 功氏、ならびに発表をすすめて下さった浜 栄一氏にお礼を申し上げます。

(まつい ひでこ 〒277 柏市根戸427—5 北柏第2住宅3—102)

8 月 下 旬 、 三 峰 で 採 集 し た 蛾

井 上 寛

1983年8月27日に行われた当会の埼玉県秩父郡大滝村での宿泊談話会に出席し、そこで採集した蛾を報告する。当夜は小型のメイガを主として採ったので、ヒトリガなど多くの科のものはほんの少ししか採らなかつた。それらについては他の採集者から報告があるはずである。

ハマキガ科 TORTRICIDAE

1. トソジロトガリヒメハマキ *Eucosma catharaspis* (Meyrick)

メイガ科 PYRALIDAE

1. ヒラノヤマメイガ *Eudonia hiranoi* Inoue
2. エグリノメイガ *Diplopseustis perieresalis* (Walker)
3. ヨスジノメイガ *Pagyda quadrilineata* Butler
4. クロフキノメイガ *Nacoleia maculalis* South
5. ヒメクロミスジノメイガ *Hedylepta misera* (Butler)
6. シロアシクロノメイガ *H. tristrialis* (Bremer)
7. タイワンウスキノメイガ *Botyodes diniasalis* (Walker)
8. ウコンノメイガ *Pleuroptya rulalis* (Scopoli)
9. シロハラノメイガ *P. deficiens* (Moore)
10. ヨツメノメイガ *P. quadrimaculalis* (Kollar)
11. オオキバラノメイガ *P. harutai* (Inoue)
12. ワタノメイガ *Notarcha derogata* (Fabricius)
13. ツチイロノメイガ *Sylepta invalidalis* South
14. ウスグロヨツモンノメイガ *Lygropia poltialis* (Walker)
15. マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis* (Bremer)
16. ツマグロシロノメイガ *Polythlipta liquidalis* Leech
17. モンウスグロノメイガ *Bradina geminalis* Caradja
18. ケナシクロオビクロノメイガ *Herpetogramma phaeopteralis* (Guenée)
19. マエキノメイガ *H. rudis* (Warren)
20. クロフキマダラノメイガ *H. moderatalis* (Christoph)
21. コキモンウスグロノメイガ *H. pseudomagna* Yamanaka
22. キマダラクロノメイガ *H. ochrimaculalis* (South)

23. モンシロルリノメイガ *Uresiphita tricolor* (Butler)
24. ホシオビホソノメイガ *Nomis albopedalis* Motschulsky
25. スジマガリノメイガ *Mutuuraia terrealis* (Treitschke)
26. キイロノメイガ *Perinephela lancealis* (Denis & Schiffermüller)
27. ヘリジロキンノメイガ *Paliga auratalis* (Warren)
28. キイロフチグロノメイガ *Paratalanta taiwanensis* Yamanaka
29. ウスマルモンノメイガ *Udea luqubralis* (Leech)
30. コマルモンノメイガ *U. montensis* Mutuura
31. アトグロキノメイガ *Pyrausta noctualis* Yamanaka
32. トモンノメイガ *P. limbata* (Butler)
33. ウスオビキノメイガ *Microstega jessica* (Butler)
34. ヒメトガリノメイガ *Anania verbascalis* (Denis & Schiffermüller)
35. ウスヒメトガリノメイガ *A. alboverbascalis* Yamanaka
36. クロフトメイガ *Termioptycha nigrescens* (Warren)
37. フタシロテンホソマダラメイガ *Assara korbi* (Caradja)
38. マエナミマダラメイガ *Nephoterix maenamii* Inoue
39. アカオビマダラメイガ *Conobathra bifidella* (Leech)
40. ホソアカオビマダラメイガ *C. rubiginella* Inoue
41. スジグロマダラメイガ *Ceroprepes nigrolineatella* Shibuya
42. オオマエジロホソメイガ *Emmalocera gensanalis* South

トリバガ科 PTEROPHORIDAE

1. フキトリバ *Pselnophorus vilis* (Butler)

カギバガ科 DREPANIDAE

1. フタテンシロカギバ *Ditrigona virgo* (Butler)

トガリバガ科 THYATRIDAE

1. ナミスジトガリバ *Mesopsestis undosa* (Wileman)

ジャクガ科 GEOMETRIDAE

1. クロモンアオジャク *Comibaena nigromacularia* (Leech)
2. コシロスジアオジャク *Hemistola veneta* (Butler)
3. クロテンシロヒメジャク *Scopula apicipunctata* (Christoph)
4. ヨツボシウスキヒメジャク *S. superciliata* (Prout)
5. アメイロヒメジャク *S. tenuisocius* Inoue

6. ルリオビナミシヤク *Acasis viretata* (Hübner)
7. ツマグロナミシヤク *Xanthorhoe muscicapata* (Christoph)
8. キリバネホソナミシヤク *Brabira artemidera* (Oberthür)
9. タテスジナミシヤク *Pareulype consanguinea* (Butler)
10. キアミメナミシヤク *Eustroma aerosum* (Butler)
11. アトクロナミシヤク *Lampropteryx minna* (Butler)
12. フタシロスジナミシヤク *Epirrhoe supergressa* (Butler)
13. フタクロテンナミシヤク *Xenortholitha propinguata* (Koller)
14. キマダラシロナミシヤク *Asthena octomaculata* Leech
15. ナカアオナミシヤク *Eupithecia sophia* Butler
16. セアカカバナミシヤク *E. tricornuta* Inoue
17. ケブカチビナミシヤク *Gymnoscelis esakii* Inoue
18. ヒメマダラエダシヤク *Abraxas nipponibia* Wehrli
19. コトビスジエダシヤク *Petelia rivulosa* (Butler)
20. マルバトビスジエダシヤク *Anaboarmia aechmeessa* (Prout)
21. スモモエダシヤク *Angerona prunaria* (Linnaeus)
22. ゴマフキエダシヤク *A. nigrisparsa* Butler
23. オイワケキエダシヤク *Exangerona prattaria* (Leech)

ドクガ科 LYMANTRIDAE

1. ブドウドクガ *Neocifuna eurydica* (Butler)

ヒトリガ科 ARCTIIDAE

1. スジモンヒトリ *Spilosoma seriatopunctata* Motschulsky

(いのうえ ひろし 下358 入間市仏子3// - 2)

「埼玉県動物誌」に追加する甲虫類 (I)

小田 博

筆者は「埼玉県動物誌」の甲虫類目録(斎藤 良夫, 1978)に記録されていない種の標本を若干所持している。初記録とは必ずしもいえないかもしれないが、本県の分布資料として意味はあると思い、以下に追加報告する。

I. DYTISCIDAE ゲンゴロウ科

1. *Hydaticus rhantoides* SHARP ウスイロシマゲンゴロウ
lex., 20-IX-1982, 入間郡大井町苗間 (灯火)
lex., 16-X-1982, 浦和市秋ヶ瀬公園

II. HYDROPHILIDAE ガムシ科

2. *Cercyon laminatus* SHARP ウスモンケンガムシ
lex., 6-X-1981, 入間郡大井町大井字東原 (腐植質)
2exs., 31-VIII-1982; lex., 2-VII-1983, 同上 (灯火)
3. *C. quisquilius* LINNÉ キバネケンガムシ
lex., 19-VIII-1981, 入間郡大井町苗間 (灯火)
2exs., 6-X-1981, 同上 (腐植質)
4. *Cryptopleurum subtile* SHARP セマルケンガムシ
lex., 19-VIII-1981; lex., 9-IX-1981, 入間郡大井町苗間 (灯火)
lex., 13-IX-1981, 同上 (枯草下)

III. HISTERIDAE エンマムシ科

5. *Peranus quinquestriatus* MOTSCHULSKY コツギエンマムシ
2exs., 18-IV-1981, 富士見市上沢3丁目 (腐植質)

IV. SCAPHIDIIDAE デオキノコムシ科

6. *Pseudobironium lewisi* ACHARD ツブデオキノコムシ
2exs., 24-IV-1982, 朝霞市浜崎; 入間郡三芳町北永井 (カワラタケ)
4exs., 25-IV-1982, 富士見市諏訪ノ丁目 (カワラタケ)

V. PTILODACTYLIDAE ナガハオノミ科

7. *Epilichas flabellatus* KIESENWETTER エダヒゲナガハオノミ
lex., 13-VI-1982; 7exs., 4-VII-1983, 秩父郡横瀬村二子山
8. *Pseudoepilichas niponicus* LEWIS ナガハオノミ
2exs., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道 (落葉下)

VI. EUCNEMIDAE コメツキダマン科

9. *Hylochares harmandi* FLEUPTIAUX オニコメツキダマン
2exs., 13-VI-1982, 秩父郡横瀬村二子山

VII. OMETHEIDAE ホソホタルモドキ科

10. *Drilonus striatulus* KIESENWETTER ホソホタルモドキ
lex., 25-VII-1981, 秩父郡東秩父村笠山
lex., 14-VII-1982, 入間郡越生町高取山 (ピーティング)

VIII. LYCIDAE ベニボタル科

11. *Dictyoptera gorhami* KONO ヒンベニボタル
lex., 14-VII-1983, 秩父郡大滝村秩父湖畔
12. *D. oculata* GORHAM メダカヒンベニボタル
lex., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道
13. *Platycis nasutus* KIESENWETTER テングベニボタル
lex., 9-V-1983, 秩父郡荒川村熊倉山
14. *Xylobanus niger* OHBAYASHI クロアミメボタル
lex., 25-II-1983, 秩父郡大滝村滝川林道 (小田 晶 採集)
15. *Lyponia delicatula* KIESENWETTER ヒメベニボタル
lex., 18-V-1981, 比企郡小川町天王沼付近
lex., 14-VII-1983, 秩父郡大滝村秩父湖畔

IX. CLERIDAE カッコウムシ科

16. *Necrobia rufficollis* FABRICIUS アカクビホソカムシ
lex., 15-VIII-1982, 入間郡大井町大井字東原 (灯火)
17. *Cladiscus obeliscus* LEWIS ホソカッコウムシ
lex., 14-VII-1982, 入間郡越生町高取山 (ピーティング)

X. MELYRIDAE ジョウカイモドキ科

18. *Laius histrio* KIESENWETTER ヒロオビジョウカイモドキ
lex., 28-VII-1982, 富士見市水子 (ピーティング)
19. *Dastys vulgaris* NAKANE ケンジョウカイモドキ
2exs., 18-IV-1982, 入間郡越生町高取山 (ピーティング)
lex., 8-V-1982, 秩父郡横瀬村二子山 (ピーティング)

XI. CUCUJIDAE ヒラタムシ科

20. *Laemophloeus dorcoides* REITTER オオキバチビヒラタムシ
4exs., 18-IX-1982; lex., 31-VII-1983, 入間郡大井町大井字東原
(クヌギ樹液: 灯火)

XII. SILVANIDAE ホソヒラタムシ科

21. *Psammoeocus fasciatus* REITTER クロオビセマルヒラタムシ
2exs., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道
22. *Silvanus bidentatus* FABRICIUS フタトゲホソヒラタムシ
lex., 30-VIII-1983; lex., 31-VIII-1982, 入間郡大井町大井字
東原 (灯火)

XIII. HELOTIDAE オオキスイムシ科

23. *Helota gemmata* GORHAM ヨソボシオオキスイ
lex., 7-IX-1981, 富士見市水子 (クヌギ樹液)
2exs., 14-VII-1982, 入間郡越生町高取山 (クヌギ樹幹)
lex., 22-VI-1983, 同 大井町大井字東原 (クヌギ樹液)

XIX. BYTURIDAE キスイモドキ科

24. *Byturus atricollis* REITTER ズグロキスイモドキ
9exs., 18-IV-1982; 2exs., 3-V-1982, 入間郡越生町高取山
(クサイチゴ花上)

XX. LANGURIIDAE コメツキモドキ科

25. *Languriomorpha lewisi* CROTCH ルイスコメツキモドキ
2exs., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道 (ピーティング)

XXI. PHALACRIDAE ヒメハナムシ科

26. *Heterolitus coronatus* FLACH ベニモンアシナガヒメハナムシ
lex., 8-V-1982, 秩父郡横瀬村二子山
2exs., 9-VIII-1982, 同 荒川村白久鹿の湯付近

XXII. EROTYLIDAE オオキノコムシ科

27. *Satelia scitula* LEWIS ツヤヒメオオキノコムシ
lex., 13-VI-1982, 秩父郡横瀬村二子山 (キノコ)
28. *Neotriplax atrata* LEWIS クロハバビロオオキノコムシ
3exs., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道 (ピーティング)
29. *Tritoma pallidicincta* LEWIS キベリハバビロオオキノコムシ
9exs., 24-IV-1982; lex., 12-VI-1982, 入間郡三芳町北永井 (キノコ)
30. *T. sobrina* LEWIS ベニモンチビオオキノコムシ
lex., 12-VI-1982, 入間郡三芳町北永井 (キノコ)
lex., 18-IX-1982, 同 大井町大井東原 (カワラタケ)
31. *T. maculifrons* LEWIS ミツボシチビオオキノコムシ
4exs., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道 (ピーティング)
32. *Dacne japonica* CROTCH ニホンホソオオキノコムシ
lex., 11-VII-1981, 富士見市上沢3丁目
lex., 6-VIII-1982, 秩父郡横瀬村二子山 (キノコ)

XXIII. ENDOMYCHIDAE テントウダマン科

33. *Lycoperdina dux* GORHAM フチトリツヤテントウダマン
lex., 25-VII-1981, 秩父郡東秩父村笠山 (キノコ)

XXIV. TENEBRIONIDAE ゴミムシダマン科

34. *Uloma marseuli* NAKANE エグリゴミムシダマン
5exs., 28-III-1982, 入間郡名栗村湯基入林道 (朽木内)
lex., 26-VII-1983, 秩父郡大滝村栃木峠 (薪上)
2exs., 26-VII-1983, 同 大滝村川又 (灯火)
35. *Misolampidius clavicus* MARSEUL ツヤヒサゴゴミムシダマン
lex., 25-VII-1981, 秩父郡東秩父村笠山
36. *Strongylium impigrum* LEWIS ヒメナガキマワリ
lex., 26-VII-1980; lex., 21-VII-1981, 富士見市上沢3丁目
lex., 24-VII-1981, 富士見市諏訪ノ丁目

XXV. ALLECULIDAE クチキムシ科

37. *Borboresthes acicularis* MARSEUL クリイロクチキムシ
lex., 13-VI-1982, 秩父郡横瀬村二子山
lex., 26-VII-1983, 同 大滝村入川林道

XXVI. INOPEPLIDAE ハネカクシダマン科

38. *Inopeplus quadrinotatus* GORHAM モンシロハネカクシダマン
lex., 21-VIII-1981, 入間郡大井町苗間 (灯火)

XXVII. MELANDRYIDAE ナガクチキムシ科

39. *Anisoxya ocularis* NOMURA et KATÔ オオメホソナガクチキムシ
2exs., 13-VI-1982, 秩父郡横瀬村二子山
40. *Melandrya mongolica* SOLSKY アカアシナガクチキムシ
lex., 15-V-1983, 秩父市橋立溪谷 (ピーティング)

XXVIII. OEDEMERIDAE カミキリモドキ科

41. *Asclera nigrocyanea* LEWIS アオグロカミキリモドキ
lex., 11-V-1982, 入間郡大井町大井字東原 (ピーティング)
42. *Oedemerina concolor* LEWIS クロアオカミキリモドキ
lex., 14-V-1981, 飯能市宮沢湖畔 (小田 晶 採集)
lex., 7-VI-1981; lex., 5-V-1982, 富士見市水子 (ヒメジョオン花上)
lex., 5-IV-1982, 大里郡寄居町馬駒ノ内林道
lex., 18-IV-1982; 3exs., 3-V-1982, 入間郡越生町高取山

XXIX. ANTHICIDAE アリモドキ科

43. *Formicomus braminus* LAFERTE-SÉNECTÈRE ホソクビアリモドキ
lex., 24-IV-1982, 富士見市上沢3丁目
2exs., 11-V-1982; 2exs., 15-V-1982, 入間郡大井町大井字東原
44. *Anthicus cohaeres* LEWIS ムナグロホソアリモドキ (ピーティング)
lex., 25-VII-1983, 秩父郡大滝村川又 (薪上. 小田 晶 採集)
45. *A. confucii* MARSEUL ウスモンホソアリモドキ
4exs., 13-IX-1981; lex., 28-VIII-1982, 入間郡大井町大井字東原
lex., 31-VII-1983, 同上 (灯火) (枯草下)
46. *A. fugiens* MARSEUL アカホソアリモドキ
lex., 3-V-1982, 入間郡越生町高取山 (小田 晶 採集)
lex., 8-V-1982, 秩父郡横瀬村二子山 (ピーティング)
lex., 6-VI-1982, 入間郡大井町大井字東原 (ピーティング)
lex., 19-VI-1983, 秩父郡大滝村三峰山表参道 (落葉下)
47. *A. tobias* MARSEUL タナカホソアリモドキ
lex., 30-VIII-1982, 入間郡大井町大井字東原 (灯火)
48. *A. valgipes* MARSEUL ヨソボンホソアリモドキ
lex., 12-IV-1981, 富士見市上沢3丁目
lex., 23-IX-1981; lex., 16-X-1982, 浦和市秋ヶ瀬公園 (湿地)
lex., 12-III-1982; lex., 28-VII-1982, 富士見市水子 (湿地枯草)
lex., 13-X-1982, 大里郡寄居町鉢形 (荒川河原)
lex., 12-V-1983, 入間郡大井町大井字東原 (腐植質)

XXX. ANTHRIBIDAE ヒゲナガゾウムシ科

49. *Ozotomerus japonicus* SHARP ウスモンツツヒゲナガゾウムシ
lex., 14-VI-1981, 富士見市上沢3丁目
50. *Paraphloeobius brevis* JORDAN コセマルヒゲナガゾウムシ
lex., 9-VIII-1982, 秩父郡荒川村白久鹿の湯付近 (枯づるピーティング)
51. *Zygaenodes leucopis* JORDAN ウンヅラヒゲナガゾウムシ
lex., 4-VIII-1981, 富士見市上沢3丁目 (小田 久美子 採集)
lex., 24-VIII-1981, 入間郡大井町大井字東原
52. *Uncifer pectoralis* SHARP キアシヒゲナガゾウムシ
2exs., 13-VI-1982, 秩父郡横瀬村二子山 (枯木ピーティング)
53. *Tropideres roelofsi* LEWIS クロフヒゲナガゾウムシ
lex., 3-V-1982, 入間郡越生町高取山
54. *Acorynus latirostris* SHARP チャマダラヒゲナガゾウムシ
lex., 3-IV-1983, 入間郡越生町黒山三滝 (スギ樹皮上のコケ内)
55. *Phaulimia aberrans* SHARP クロホソヒゲナガゾウムシ
lex., 15-V-1983, 秩父市橋立溪谷 (ピーティング)

XXXI. ATTELABIDAE オトシブミ科

56. *Chokkirius truncatus* SHARP シリプトチョッキリ
lex., 9-V-1983, 秩父郡荒川村熊倉山
57. *Deporaus unicolor* ROELOFS コナライクビチョッキリ
lex., 16-V-1982, 入間郡大井町大井字東原 (ピーティング)
58. *Merhynchites assimilis* ROELOFS カシリリチョッキリ
lex., 18-IV-1983, 入間郡越生町高取山 (ピーティング)
59. *Involvulus pilosus* ROELOFS ヒメケブカチョッキリ
lex., 5-IV-1982, 大里郡寄居町馬騎ノ内 (ケヤキ樹皮下)
60. *Euops punctatostriata* MOTSCHULSKY ルリオトシブミ
lex., 18-IV-1982, 入間郡越生町高取山 (ピーティング)

XXXII. RHYNCHOPHORIDAE オサゾウムシ科

61. *Diocalandra elongata* ROELOFS ササコクゾウムシ
lex., 11-V-1982; lex., 18-IX-1982, 入間郡大井町大井字東原
(ピーティング、樹液)

[注] 上記の 32. 59 の 2 種については、すでに柳田 恒一郎氏が報告している [本誌 (39) : 460]。また、38 のモンシロハネカクシダマシは全国的にも記録の少ない種らしく [大塚 篤 (1983) モンシロハネカクシダマシの採集例、昆虫と自然 18 (14)]、これが本県での初記録と思われる。

(おだ ひろし 〒354 富士見市上沢 3-6-15)

冬 の ム ラ サ キ シ ジ ミ の 吸 水

神 久 保 美 津 夫

1984年1月4日、狭山湖畔の路上において、ムラサキシジミの吸水を目撃したので報告したい。この日の午前中は比較のおだやかな日で、狭山湖畔の日だまりは風もなく気温も冬にしては暖かだった。11時ごろ、ミドリシジミの卵をさがしに出かけたところ、路上に黒い蝶が飛んでいた。近づいて見ると、なんとムラサキシジミであった。驚かさないようにじっと見ていたところ、まもなく路上に止まり、翅は太陽の方向に大きく開き、陽光をいっぱい受ける感じである。さらに近づいて見ると、新鮮な♀であった。

日なたぼっこをしていると思っていたところ、ストローを伸ばし吸水を始めた。しばらく同じ状態を続けていたのでそっと立ち去ったが、真冬にこのようなムラサキシジミの吸水する姿を目撃したのは初である。なお、同じ場所でテングチョウも1頭見かけた。

(じんくぼ みつお 〒358 入間市下藤沢 158)

埼玉県未記録の蛾7種の記録

柳田恒一郎

筆者の手元にある蛾の標本で、本県未記録と思われるものがあるので報告する。なお、3と4を同定していただいた市川和夫先生に深く感謝する。

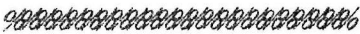
1. ヨモギメバエガ *Catoptria metzneriana* TREITSCHKE
4 exs. 和光市西大和団地 26-V-1983
2. トビモンコハマキ *Argyrotaena congruentana* KENNEL
/ ex. 小川町金勝山 1-V-1983
3. ヨモギヒラタマルハキリガ *Agonopterix yomogiella* SAITO
/ ex. 和光市西大和団地 13-XI-1982
4. ヒメアカマダラメイガ *Nephoterix adelphella* FISCHER von ROSLERSTAMM
/ ex. 和光市西大和団地 16-IX-1982
5. ベニモンキノメイガ *Ostrinae palustralis memnialis* WALKER
/ ex. 和光市西大和団地 23-IX-1982
/ ex. 日高町きんちゃく田 29-IV-1983
6. ウスオビシロエダシヤク *Bapta distans* WARREN
/ ♂ 和光市西大和団地 1-VI-1983
(さらに、東京都八王字市 11-VI-1983 にも本種を得た。)
7. リュウキュウキノカワガ *Risoba promineus* MOORE
/ ♀ 和光市西大和団地 3-XI-1983

1~6は草むらにて、7は灯火に来たものを採集した。

(やなぎだ こういちろう 〒351 和光市西大和団地 / -4-30/)



トンボ展示室よりお知らせ トンボ展示室は、4月以降も第1、第3日曜日の午前10時~午後4時に開放の予定です。



また、行事としては、次のような事を計画しております。

- | | |
|--------------|----------------|
| 3月25日：ヤゴの観察会 | 4月：トンボの生態(映写会) |
| 7月：昆虫教室 | 10月：アカトンボ観察会 |

所在地・問い合わせ：埼玉県大里郡寄居町末野1233-2 新井 裕

☎0485-81-4540

皆野町 8 月上旬の蛾 (1)

柳田 恒一郎

筆者が、1983年8月5～6日に埼玉県皆野町で主に夜間採集によって得た蛾のうち、ジャクガ科とヤガ科のものをここにまとめる。前回(3月)同様、協力していただいた山口 裕久先生に深く感謝する。*印は本県未記録種と思われるもの。データは下記の記号で示す。

A 皆野町戦場 5-VIII-1983

B " 6-VIII-1983

C 皆野町 山 6-VIII-1983

ジャクガ科

アオジャク亜科

ズジツバメアオジャク / ex. A

*アカアシアオジャク / ♀ B

ヒメジャク亜科

ペニヒメジャク / ex. B

ヒトツメオオシロヒメジャク 2 exs. C

ナミジャク亜科

セグロナミジャク / ex. A

エダジャク亜科

*クロフオオシロエダジャク / ex. A

ヨツメエダジャク / ex. B

フトフタオビエダジャク / ♀ A, / ♂ B

ウスクモエダジャク / ex. C

サラサエダジャク / ♂ A

ハガタムラサキエダジャク / ♀ A

ウラベニエダジャク / ♀ B

ツマキリエダジャク / ♂ A

*クロモンオオエダジャク / ♀ B

ウラモンアカエダジャク 5 exs. B

ウスキツバメエダジャク / ex. B

ヤガ科

モンヤガ亜科

ウスイロカバスジャガ / ex. A

ヨトウガ亜科

ヨトウガ / ♀ A

カラスヨトウ亜科

ヒメカバマダラヨトウ / ex. B

ハジマヨトウ / ex. B

チャオビヨトウ 3 exs. A

オオシマカラスヨトウ / ex. B,

カラスヨトウ / ex. A

オオウスズマカラスヨトウ / ex. A, / ex. B

フタテンヒメヨトウ / ex. A

シロモンオビヨトウ / ♀ A

リング亜科

カマフリング / ♀ / ex. B

アオスジアオリング / ♂ A, / ♂ B, / ♀ C

コヤガ亜科

シロフコヤガ 2 exs. A

ニセシロフコヤガ / ex. B

モンキコヤガ 2 exs. C

ウスベニコヤガ / ex. B

シタバ亜科

オオエグリバ 2 exs. C

ウンモンシマキリアツバ / ex. B

クロハナアツバ / ex. B

シラナミアツバ 2 exs. B

オオシラナミアツバ 2 exs. A, / ex. B

なお、山山頂の十数本の水銀燈には、小さなものも含めれば、ほとんど無数の蛾が集まっており、時間さえあればいくらでも採れそうだった。水銀燈のFには、まさに無数の羽蟻がうごめいていたのが印象的であった。

(やなぎだ こういちろう 〒351 和光市西大和団地 / -4-30 /)

小 笠 原 諸 島 の 夏 の ヤ ガ 類
市 川 和 夫

1983年8月8日から12日にかけて、小笠原諸島の父島と母島を訪れた南部敏明氏は、15種29個体の蛾を採集し筆者にくださいました。

採集品のすべてを展翅し杉繁郎氏にも見ていただき、それらのうちのヤガ科9種23個体の種名がわかったので報告する。平素ご指導いただいている南部、杉の両氏に感謝します。

NOCTUIDAE ヤガ科

1. *Helicoverpa armigera* (Hübner) オオタバコガ
母島 10-VIII / ♀, 母島 11-VIII / ♂
2. *Spodoptera litura* (Fabricius) ハスモンヨトウ
母島 10-VIII / ♂
3. *Platysenta illecta* (Walker) オオホシミミヨトウ
父島 8-VIII / ♀
4. *Callopistria maillardi* (Guenée) ナカウスツマキリヨトウ
母島 10-VIII / ♀
5. *Stictoptera cuculliformis* Guenée スカシホソヤガ
母島 10-VIII ♀♀ 6 ♂♂, 母島 11-VIII / ♀ / ♂.
6. *Ophiusa coronata* (Fabricius) キンタアシフトクチバ
母島 10-VIII / ex., 父島 12-VIII / ex.
7. *Achaea serva* (Fabricius) オオシラホシアシフトクチバ
母島 11-VIII / ♀
8. *Anomis flava* (Fabricius) ワタアカキリバ
父島 12-VIII / ♂
9. *A. revocans* Walker カバイロオオアカキリバ
母島 11-VIII / ♀

(いちかわ かずお 〒336 浦和市南本町2-7-11)

三 峰 で ミ ド リ リ ン ガ を 3 頭 採 集

市 川 和 夫

昨年の夏季合宿談話会における灯火採集は、大滝村三峰の民宿「みつみね」で、ブラックライトおよび青色蛍光誘蛾灯など8本を点灯して行った。

その夜は幸い好条件に恵まれ、翌早朝まではっきりなしの多数の蛾の飛来をみた。井上 寛先生をはじめ会員の内数名の人がそれぞれ多数個体を採集したので、今後発表されるはずであるが、印象的であったのはムラサキタバ（碓井 徹 採集）、オオシロシタバ（山崎 正則 採集）を含む *Catocala* が100個体以上飛来したことと、常緑カン帯を主生息地とするミドリリングガを採集したことである。

アラカンを食樹とするミドリリングガの採集例は今回がはじめてであり、しかも海拔1000mに近い温帯林なので特筆に値すると思い記録しておく。

ミドリリングガ *Clethrophora distincta* (Leech)

堤 啓輔さんが1頭、神部 正博さんが2頭採集し、そのうちの1頭を筆者が、他の2頭を神部さんが保存。

採集地：埼玉県秩父郡大滝村三峰

年月日：1983年8月27日

(いちかわ かずお 〒336 浦和市南本町2-7-11)

ヒ ト ツ メ カ ギ バ 成 虫 を 12 月 に 採 集

松 井 英 子

ヒトツメカギバ *Auzata superba* (Butler) は、6~10月の間に2回出現し（「原色日本蛾類図鑑（下）1958）、暖地では年に3回くらい発生すると思われる（「日本産蛾類大図鑑」1982）とされている。

筆者は本種の非常に遅い発生個体1♀を採集したので報告する。

採集日：1983年12月4日 14時

採集地：町田市、玉川大学構内の道端の葉上（地上1m）

採集個体をフィルムケースに入れておき、帰宅後にみたら5卵産卵していた。しかし、いずれも無精卵であった。

この成虫は斑紋に特徴はみられなかったが、開張37.4mmで、1981年8月28日秩父川又で採集した♀の41.8mmよりも小型であった。

(まつい ひでこ 〒277 柏市根戸427-5 北柏第2住宅3-102)

埼玉県産半翅類雑記 (8)

野 沢 雅 美

・埼玉からタマカメムシ記録される

タマカメムシ *Sepontia aenea* Distant は、我国のカメムシ科の中では体長4mmに満たない最小の種である。関東地方では個体数も少ないようで、これまで埼玉県からは未発見の種であった。

今回、県立自然史博物館の所蔵標本を調べる機会に恵まれ、半翅類標本を検したところ、タマカメムシの雌1個体を確認することができた。この標本は県立蔵高校生物部の寄贈標本の中から見出したものでデータは次のとおり。

採集日：1968年6月2日

採集地：奥武蔵高原子の権現

埼玉の半翅類（埼玉県動物誌）では見落としていたもので、新たに記録しておきたい。本種は、成虫越冬した個体は4～5月頃にオドリコソウ群落で発見され、新成虫は7月に出現する（宮本,1970）といわれる。この結果、県内産のカメムシ科は7亜科48種となる。本種はこの記録以来15年間記録がないことになるが、今後注目したい種である。

報告にあたり、未筆ながら標本の借覧を許された県立自然史博物館にお礼申し上げますとともに、多忙中便宜をはかられた清水 古寿、松本 充夫両学芸員に感謝する次第である。

(のざわ まさみ 〒369-12 寄居町桜沢2506の4番地)

コフキトンボ♀異色型の記録

柳 田 恒 一 郎

コフキトンボ♀の異色型は本県からもいくつか記録があるが、和光市周辺の記録はないようなので、報告しておく。

採集地：埼玉県和光市西大和団地

採集日：1983年7月30日

採集個体：1♀ 腹長27mm 後翅長35mm

採集者：柳田 恒一郎

(やなぎだ こういちろう 〒351 和光市西大和団地1-4-301)